

レファレンスセンター等関 連会議： アデノウイルス

世話人： 国立感染症研究所 感染症疫学センター
藤本嗣人, 花岡 希
fujimo-t@nih.go.jp

2016年7月21日(木) 広島県 健康福祉センター3F 大会議室B
11:10~12:10

地区レファレンスセンター 2016

北海道・東北・新潟地区

青森県環境保健センター

筒井 理華

新潟県保健環境科学研究所

広川 智香

関東・甲・信・静地区

東京都健康安全研究センター

長谷川 道弥

川崎市健康安全研究所

松島 勇紀、清水 英明

東海・北陸地区

福井県衛生環境研究センター

平野 映子

近畿地区

大阪府立公衆衛生研究所

廣井 聡

中国・四国地区

広島市衛生研究所

藤井 慶樹

九州地区

宮崎県衛生環境研究所

三浦 美穂

* 敬称略

咽頭結膜熱と検出ウイルス

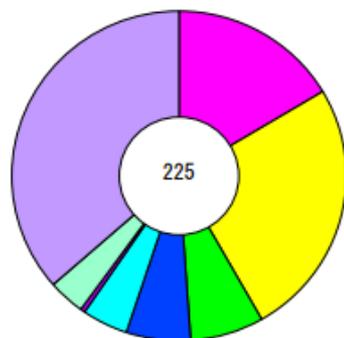
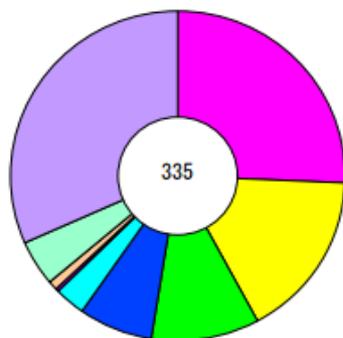
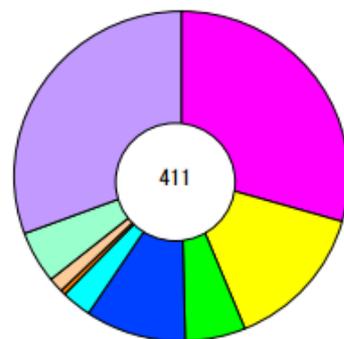
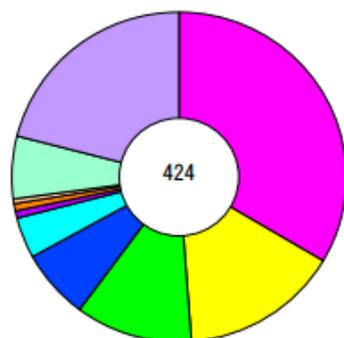
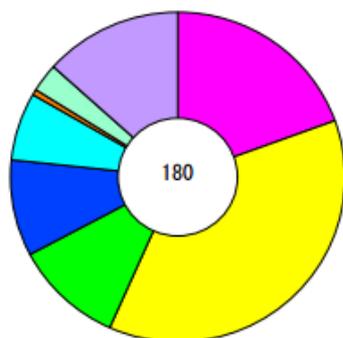
咽頭結膜熱患者から分離・検出されたウイルス、2012～2016年

(病原微生物検出情報：2016年7月15日 作成)

* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離／検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report



- Adenovirus 3
- Adenovirus 2
- Adenovirus 4
- Adenovirus 1
- Adenovirus 5
- Adenovirus 37
- Adenovirus 54
- Adenovirus 6
- Other adeno
- その他

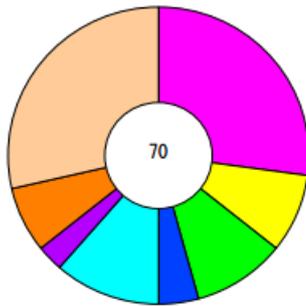
流行性角結膜炎：2015年から54型の流行が続いている

流行性角結膜炎患者から分離・検出されたウイルス、2012～2016年
 (病原微生物検出情報：2016年7月15日 作成)

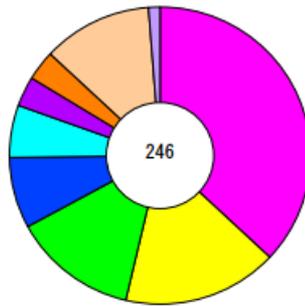
* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

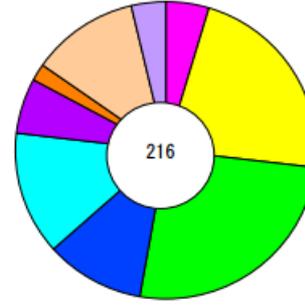
Infectious Agents Surveillance and Report



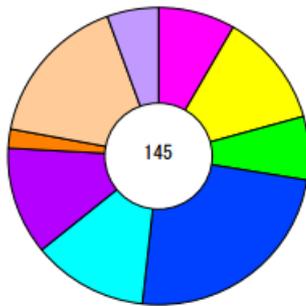
2016年



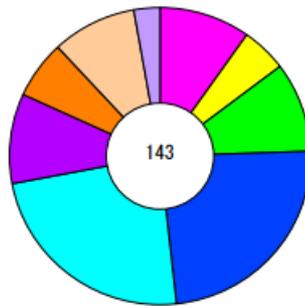
2015年



2014年



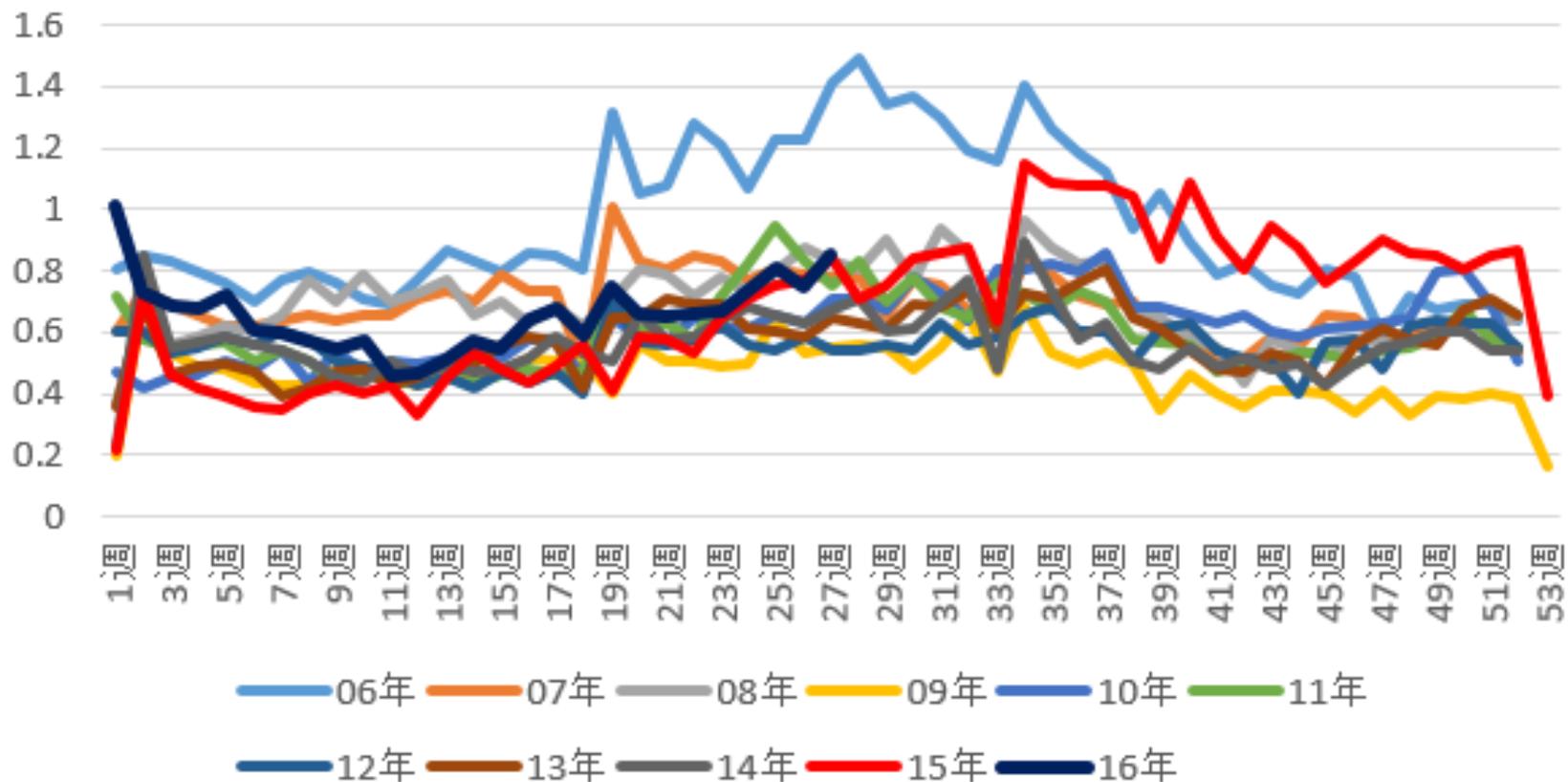
2013年



2012年

- Adenovirus 54
- Adenovirus 3
- Adenovirus 37
- Adenovirus 4
- Adenovirus 56
- Adenovirus 8
- Adenovirus 53/22
- Other adeno
- Coxsackievirus A24
- その他

流行性角結膜炎定点当たり患者数



昨年度(2015年)に54型による全国規模の流行性角結膜炎の流行



致死症例からのアデノウイルス検出

Emerg Infect Dis. 2016 Apr;22(4):687-90. doi:
10.3201/eid2204.151595.

Adenovirus Type 7 Pneumonia in Children Who Died from Measles-Associated Pneumonia, Hanoi, Vietnam, 2014.

Hai le T, Thach HN, Tuan TA, Nam DH, Dien TM, Sato Y, Kumasaka T, Suzuki T, Hanaoka N, Fujimoto T, Katano H, Hasegawa H, Kawachi S, Nakajima N.

Abstract

During a 2014 measles outbreak in Vietnam, postmortem pathologic examination of hospitalized children who died showed that adenovirus type 7 pneumonia was a contributory cause of death in children with measles-associated immune suppression. Adenovirus type 7 pneumonia should be recognized as a major cause of secondary infection after measles.

近年に日本で流行していないが7型は、小児で致死的感染症を引き起こすことがある。諸外国で、7型の流行は多く報告されているので日本においても監視の継続が重要。